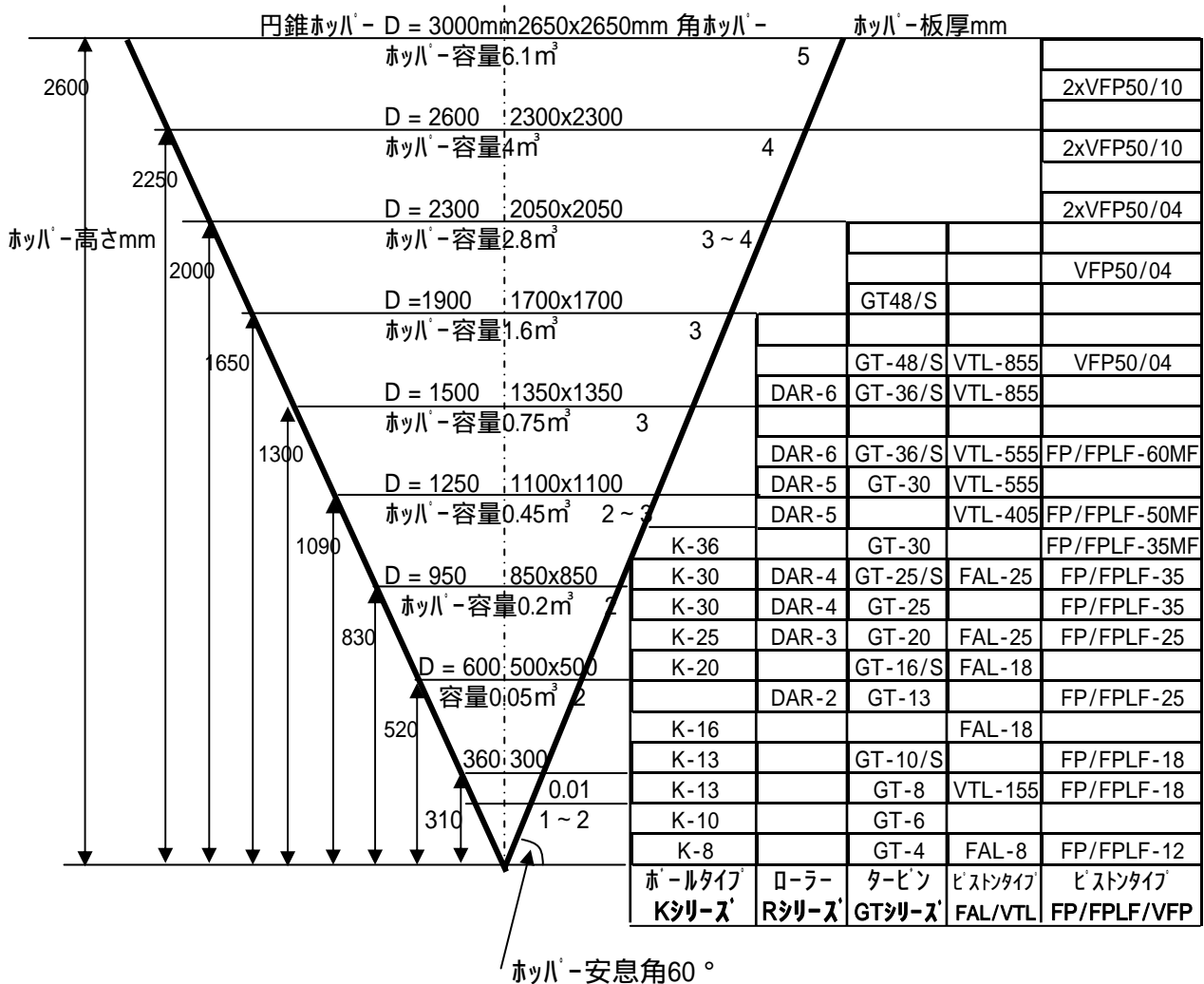


ホッパー用バイブレーター選定表



、 、 は下記を示します。

| バイブレーター振動力 | ホッパー - 板厚 | ワーク比重 | ホッパー - 安息角 |
|------------|-----------|-------|------------|
| 強い振動力が必要 | 厚い | 大 | 小 |
| 普通 | 普通 | 普通 | 普通 (60°) |
| 弱い振動力 | 薄い | 小 | 大 |

- 注) 1. 上記チャートの各バイブレーター型式は選定の目安として下さい。
 実際にはワークの形状、大きさ、比重、粘度、水分等により選定した型式を調整する必要がある場合も有ります。
2. ピストンバイブレーター FAL/VTL の型式においてはより大きな振幅を発生させる為にバイブレーター本体あるいはピストンに錘(振動体を重くする)をつけて振動させることも可能です。
 付加錘の大きさについては別途弊社までお問い合わせ下さい。
3. ワークの粒子が小さく、比重が小さい場合は一般的に振動数が大で振幅の小さい回転タイプ (K,DAR,GTシリーズ) より、振動数が小で振幅の大きいピストンタイプ (FAL,VTL,FP,VFPシリーズ) の方が適しています。